



平成22年2月10日

各位

会社名 MUTOH ホールディングス株式会社  
代表者名 取締役社長 早川 信正  
(コード番号 7999 東証第1部)  
問合せ先 経営管理本部 部長 阿部 利彦  
(TEL. 03-5740-8700)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成21年5月15日の決算発表時に公表いたしました平成22年3月期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	22,000	600	600	300	6.52
今回修正予想(B)	22,000	100	100	△280	△6.09
増減額(B-A)	0	△500	△500	△580	—
増減率(%)	0.0	△83.3	△83.3	—	—
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	26,338	951	1,394	604	12.65

#### 2. 修正の理由

当第3四半期における経済環境は、設備投資への慎重な姿勢が続き、販売単価も低下傾向にあり、依然として厳しい状況にて推移してまいりました。当社グループにおきましては、下半期の市場環境はある程度回復するものと見込んでおりましたが、販売単価の下落の影響もあり、利益的には十分な回復には至りませんでした。

このような情勢下において、当社グループは積極的な販売活動と経費の削減対策等を展開し、下半期の営業利益、経常利益では黒字が見込まれるようになりましたが、業績予想を達成するには至らない状況にあると判断いたしました。この結果を踏まえて、業績予想を修正いたします。

売上高では、アジア地域において当初計画を上回る実績を示し、その他の地域での回復が遅れているものの、予想値を確保する見込みとなりました。

損益面に関しては、継続した製品のコストダウンや販売費および一般管理費の削減等を実施しており、販売価格低下による利益の減少分をカバーして、営業利益および経常利益は緩やかに回復しておりますが、新製品の為の開発投資を当初計画より増額したこともあり、前回予想には達しない見込みとなりました。

純利益では、不透明な経済環境下において、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果一部取崩しを行い、法人税等調整額に142百万円を計上したこと等により、予想値を下回る見込みとなりました。

(注) 上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上